

学術情報ネットワーク接続用通信回線

仕 様 書

平成22年3月

阿南工業高等専門学校

I. 仕様書概要説明

1 調達の背景及び目的

学術情報ネットワーク（SINET）に接続するイーサネット通信回線は阿南工業高等専門学校（以下「本校」という。）における教育・研究・事務処理等に必要不可欠なものである。現在使用中の回線は平成22年4月末日で契約期間が終了するため、今回更新をしようとするものである。

2 調達物品名及び構成内訳

学術情報ネットワーク接続用通信回線 1式

3 技術的要件の概要

- (1) 本調達物品にかかわる性能、機能及び技術等(以下「性能等」という。)の要求要件(以下「技術的要件」という)は「II. 調達物品に備えるべき技術的要件」に示すとおりである。
- (2) 技術的要件はすべて必須の要求要件である。
- (3) 必須の要求要件は本校が必要とする最低条件を示しており入札機器の性能等がこれらを満たしていないとの判定がなされた場合には不合格となり落札決定の対象から除外する。
- (4) 入札機器の性能等が技術的要件を満たしているか否かの判定は、本校学術情報ネットワーク接続用通信回線技術審査委員会において、入札機器に係る応札仕様書その他の入札説明書で求める提案資料の内容を審査して行う。

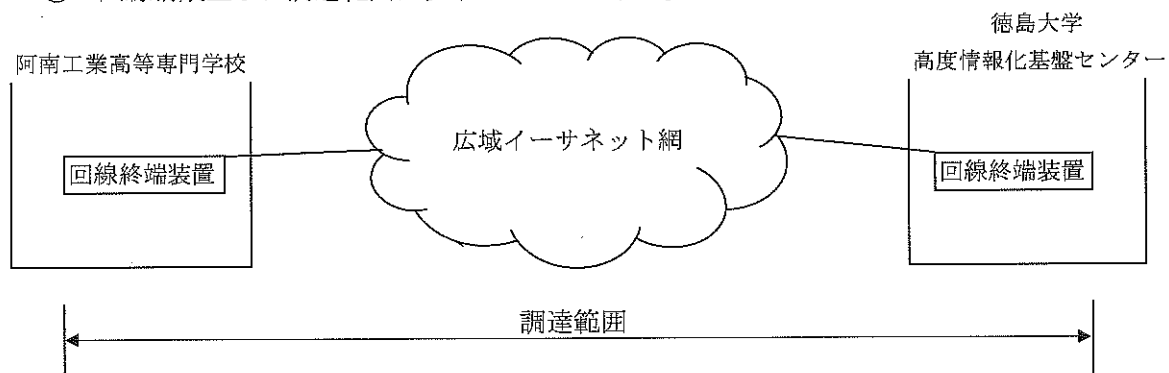
4 その他

(1) 応札仕様書に関する留意事項

- ① 入札物品は、入札時点で原則として製品化されていること。ただし、入札時に製品化されていない物品で応札する場合は、技術的要件を満たすこと及び納入期限までに製品化され、納入できることを証明する書類を提出すること。
- ② 提案に際しては、本仕様書の要求要件をどのように満たすのか、或いはどのように実現するのかを技術的要件毎に具体的、かつ、わかりやすく記載すること。従って本仕様書の技術的要件に対して、単に「はい、できます。」、「はい、提案します。」、「有します。」といった回答の提案書では評価に支障を来すので、その実現方法等や実証データ等を添え、具体の提案を行うよう留意されたい。記載が不十分なため、調達側で評価不能と判断した場合は、技術的要件を満たしていないものと見なし、不合格とする。
- ③ 提案された資料等に関し記述内容が不明確である場合は有効な提案書と見なさないので留意されたい。また、資料等のうち仕様書の技術的要件に関する記述がなされている箇所には活字の読みとりができる白色以外の色でマークすることとし、マークをした頁には付箋を付すこと。
- ④ 提案された資料内容について、問い合わせやヒアリングを行う場合があるので、照会先を明記すること。

(2) その他の留意事項

- ① 本業務は平成22年5月1日より運用を開始する。
- ② 回線構成並びに調達範囲は以下のとおりとする。



II. 調達物品に備えるべき技術的要件

(性能・機能に関する要件)

- 1 回線
- 1-1 1-2の接続拠点間を光ファイバによる広域イーサネットで接続すること。
- 1-2 回線の設置(接続)区間
- 1-2-1 起点 阿南市見能林町青木265 阿南工業高等専門学校総合情報処理室
- 1-2-2 終点 徳島市南常三島町2丁目1 徳島大学高度情報化基盤センター
- 1-2-3 平成22年4月16日までに、阿南工業高等専門学校、徳島大学高度情報化基盤センター間において通信サービスを提供できるようにし、その後契約開始日まではテスト運用期間とすること。
- 1-3 回線帯域は、10Mbps以上を確保し、全二重通信であること。
- 1-4 ユーザーインターフェイスは回線終端装置において、10BASE-T以上であること。
- 1-5 VLAN機能による柔軟な経路設定ができる通信環境であること。
- 1-6 回線構成は十分なセキュリティを確保した閉域網とし、外部からのアクセスや帯域への干渉がないこと。(ID・PASSの認証を必要としないこと。)
- 1-7 特定データの帯域を確保するため、優先制御機能を有すること。
- 1-8 広域イーサネット網内の回線が冗長化されていること。

(性能・機能以外の要件)

- 1 障害監視及び保守
- 1-1 回線帯域は、契約する帯域を確保又は保証することができること。
- 1-2 回線及び障害の監視を24時間365日実施し、障害受付、障害対応が行える保守体制を有すること。
- 1-3 常に正常な状態で回線及び回線終端装置を稼働させ、障害発生時には速やかに回復し、本校担当者に報告すること。
- 1-4 本調達回線設備を保有し、電気通信事業法で定める電気通信事業者であり、災害対策、故障対策を考慮した信頼性対策が取られていること。
- 2 回線工事
- 2-1 回線終端装置の設置、回線終端装置等までの入線工事を行い、工事等のスケジュールは、本校の担当者と協議し、その指示に従うこと。
- 2-2 工事にかかる諸経費(配管工事費等を含む。)は、本調達に含むこと。
- 2-3 校内ネットワークへの接続については、ネットワーク構築業者と打ち合わせを行うこと。
- 2-4 契約開始日までに回線終端装置の搬入、設置、設定、試験等安全運用に必要な工事全般を終了すること。
- 3 その他
- 3-1 本仕様書に記載のない事項については、本校担当者の指示に従うこと。
- 3-2 設計、回線工事、広域イーサネット内の工事、回線終端装置の搬入、設置、設定、試験等広域イーサネット構築時に必要な経費は、すべて本調達に含めること。
- 3-3 装置の搬入に際しては、本校及び徳島大学の施設に損傷を与えないよう十分な注意をするとともに、搬入時には受注者が必ず立ち会うこと。